

実務経験のある教員等による授業科目一覧

教育学部

【教育学部 初等幼児教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	片岡啓	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する
2	初等教科教育法(国語)	瀬尾泰広	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、国語教育の変遷を理解し、今日の国語教育に求められている指導内容や指導方法を教授する。
3	初等教科教育法(理科)	中辻祥仁	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、系統的学びを重視し、中学校および高等学校理科との連携に配慮しながら授業計画の構築を目指す
4	初等教科教育法(算数)	光永文彦	2年後期	2	教員の実務経験を活かし、算数科学習指導案の書き方および算数教育の授業実践に関する基本的な知識・理論を習得させ
5	初等教科教育法(社会)	國嶋智行	2年後期	2	教員の実務経験を活かし、社会認識を育成する社会科の授業づくりの方法を理解し、実践的な授業を行うための基礎的な技能を身につけさせる。
6	小学校実習事前事後指導	舟橋・國嶋・今村・中辻・中山・諸木・川内・鈴木・濱川・光永・吉村	3年前期	1	教員の実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(幼・小)	舟橋・國嶋・今村・中辻・中山・諸木・川内・鈴木・濱川・光永・吉村	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

【教育学部 国語教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	片岡啓	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する
2	中等教科教育法(国語Ⅰ)	舟橋秀晃	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、中等国語科教育の目標・内容・方法などを理解し、望ましい授業構想やその指導法についての知識と能力を習得する。
3	中等教科教育法(国語Ⅱ)	舟橋秀晃	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、模擬授業を通して、授業計画・評価・発問・板書などの実践力を培い、中等国語科教員としての知識・技能などを教授する。
4	中等教科教育法(国語Ⅲ)	加藤郁夫	2年後期	2	教員の実務経験を活かし、中・高等学校の各社の教科書の比較検討を通して、中等国語科教育の各領域のねらいや教材の役割、特性、課題を学ぶ。
5	中等教科教育法(国語Ⅳ)	加藤郁夫	3年前期	2	教員の実務経験を活かし、中等国語科教育の今日の課題や、自己の教育実習で残った課題を持ち寄って討議し、国語教員としての高い知識や能力・技能を身につける。
6	中等教育実習事前事後指導	舟橋・松田・礪波・山下・加藤・及川・樋山・谷口・小林・山笠・佐藤	3年前期	1	教員の実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(中・高)	舟橋・松田・礪波・山下・加藤・及川・樋山・谷口・小林・山笠・佐藤	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

実務経験のある教員等による授業科目一覧

【教育学部 数学教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	片岡啓	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する
2	中等教科教育法(数学Ⅰ)	片岡啓	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、学習指導要領とそこに書かれている数学の授業内容について教授する
3	中等教科教育法(数学Ⅱ)	片岡啓	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、授業指導計画案の作成方法、教授上の発問・板書・課題・教具などの技巧と利用法を教授する
4	中等教科教育法(数学Ⅲ)	谷口浩朗	2年後期	2	教員の実務経験を活かし、授業実践と授業実践を踏まえての中等教育内容の問題点・困難点を把握する
5	中等教科教育法(数学Ⅳ)	谷口浩朗	3年前期	2	教員の実務経験を活かし、数学教育における教材の例とそれらの教育目的の理解、数学教育の現状と問題点について教授する
6	中等教育実習事前事後指導	舟橋・松田・礪波・山下・加藤・及川・樋山・谷口・小林・山埜・佐藤	3年前期	1	教員の実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(中・高)	舟橋・松田・礪波・山下・加藤・及川・樋山・谷口・小林・山埜・佐藤	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

【教育学部 英語教育専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	教師論	片岡啓	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、教職入門としての、教職の意義、教員としての使命、自覚など、教員専門職としての在り方教授する
2	中等教科教育法(英語Ⅰ)	山埜茂彦	1年後期	2	教員の実務経験を活かし、中等教育における優れた英語教員になれるために必要な知識を教授する
3	中等教科教育法(英語Ⅱ)	山埜茂彦	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、中高の英語教員として英語教育の実践につながる知識を身につけ、実際に授業を組み立てる基礎力を養う。
4	中等教科教育法(英語Ⅲ)	佐藤雅之	2年後期	2	教員の実務経験を活かし、それぞれの教授法の理念を理解し、その理念に基づいた指導案を作成し、模擬授業を通して、授業実践を目指す。
5	中等教科教育法(英語Ⅳ)	佐藤雅之	3年前期	2	教員の実務経験を活かし、教育法Ⅲで体験習得した指導法をベースにして、教科内容の学習を通して英語の習得を図る。
6	中等教育実習事前事後指導	舟橋・松田・礪波・山下・加藤・及川・樋山・谷口・小林・山埜・佐藤	3年前期	1	教員の実務経験を活かし、教育実習に必要な知識や態度の習得させ、事後指導として、教育実習の総括と自己評価を行い、実習後の課題を見出す。
7	教職実践演習(中・高)	舟橋・松田・礪波・山下・加藤・及川・樋山・谷口・小林・山埜・佐藤	4年後期	2	教員の実務経験を活かし、教員として必要な基礎的資質の形成について確認し、教職生活をより円滑にスタートできるようになることを目指す。
合計				13	

実務経験のある教員等による授業科目一覧

保健医療学部

【保健医療学部 看護学科】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	基礎看護技術論Ⅰ	角田・岡崎・奥山・中村	1年前期	2	看護師の実務経験を活かし、科学的な根拠に基づき、対象の安全安楽自立を目指す看護技術を習得できる為の思考と技術を教授する
2	基礎看護技術論Ⅱ	角田・岡崎・奥山・中村	1年後期	2	看護師の実務経験を活かし、科学的な根拠に基づき、対象の安全安楽自立を目指す看護技術を習得できる為の思考と技術を教授する
3	成人臨床看護学Ⅰ	柳下・吉田・蓑輪	2年前期	2	看護師の実務経験を活かし、成人期の急性期・周手術期の看護について学び、看護実践能力を高める為の素地をつくる
4	成人臨床看護学Ⅱ	柳下・吉田・蓑輪	2年後期	2	看護師の実務経験を活かし、成人期の慢性期・終末期の看護について学び、看護実践能力を高める為の素地をつくる
5	老年臨床看護学	稲村・小出	2年後期	2	看護師の実務経験を活かし、あらゆる健康レベルの老年期の対象へQOLを考えた自立支援と生活援助が実践できる為の素地をつくる
6	精神臨床看護学	山元・松田	2年後期	2	看護師の実務経験を活かし、精神障害のある対象への理解と看護実践に向けた基礎的知識と技術を教授する
7	在宅臨床看護学	日吉・久乗	2年後期	2	看護師の実務経験を活かし、在宅療養者と家族の理解、在宅療養者へ援助技術の実際を学び、実践能力を高める為の素地をつくる
合計				14	

【保健医療学部 総合リハビリテーション学科・理学療法専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	基礎理学療法評価学	高橋 裕二	1年後期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、臨床現場での理学療法における身体機能評価について概説し、その実技を学ぶ。
2	スポーツ障害学	岩下 篤司	2年後期	1	担当教員の臨床経験に基づき、理学療法におけるスポーツ障害について理解し、テーピングなどの障害発生時のアプローチについて概説する。
3	呼吸・循環障害理学療法学	赤壁 知哉	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づき、呼吸器疾患と循環器系疾患に関する理学療法について概説する。
4	中枢神経障害理学療法学	糸谷 圭介	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、大脳や脊髄といった中枢神経系のメカニズムと異常について学び、それらに対する理学療法を概説する。
5	発達障害理学療法学	糸谷 圭介	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づき人間の発達を理解するとともに発達の異常や障害とを知り、発達障害に対する理学療法を概説する。
6	内部障害理学療法学	赤壁 知哉	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づき、内科系疾患に関する基礎知識と理学療法について概説する。
7	運動器障害理学療法学	藤長 武士	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づき、筋肉・関節・骨の異常を学び、それらに対する理学療法評価および治療学について概説する。
合計				13	

【保健医療学部 総合リハビリテーション学科・作業療法専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	身体障害の作業療法	福本倫之	2年後期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、身体障害領域の代表的疾患に関する作業療法について概説する。
2	高次神経障害	福本倫之	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、高次神経障害の症状やそれに対する作業療法について概説する。
3	老年期障害の作業療法	菅沼一平	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、認知症を中心とした老年期障害領域に関する作業療法について概説する。
4	発達障害の作業療法	田中 裕二	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、脳性麻痺を中心とした発達障害領域に関する作業療法について概説する。
5	精神障害の作業療法	幸 信歩	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、統合失調症を中心とした精神障害領域に関する作業療法について概説する。
6	日常生活活動	瀬川 大	3年前期	2	担当教員の臨床経験に基づいて、日常生活活動の意味や位置づけ、さらにはそれらに対する作業療法について概説する。
7	作業治療学の基礎	澤 賢一郎	3年前期	1	担当教員の臨床経験に基づいて、作業療法アプローチの臨床的見解を含む基礎的概略について概説する。
8	老年期障害演習	菅沼一平	3年後期	1	担当教員の臨床経験に基づいて、認知症を中心とした老年期障害領域に関する作業療法的な捉え方についてグループディスカッション等を通して演習する。
合計				14	

実務経験のある教員等による授業科目一覧

【保健医療学部 総合リハビリテーション学科・言語聴覚学専攻】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	備考(担当者の実務経験と教育内容との関連を簡潔に)
1	失語症評価学	塚本能三	3年前期	2	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、失語症の諸検査の手順、結果の読み取りを学び、評価法を修得させる。
2	失語症学	塚本能三	3年後期	2	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、失語症の類型、発現機序、脳画像との対応などを修得させる。
3	高次脳機能障害学	塚本能三	3年後期	2	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、高次脳機能障害の類型、発現機序、脳画像との対応などを修得させる。
4	言語発達障害学	高橋和子	3年前期	2	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、言語発達障害の障害の分類、治療学、歴史などを修得させる。
5	言語発達障害評価演習	高橋和子	3年後期	1	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、言語発達障害児のレポート形成のための接し方、評価法などを修得させる。
6	言語聴覚障害概論	佐藤俊彦	1年前期	2	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、言語聴覚障害に関わる概論により、専門に至るまでの基礎について修得させる。
7	摂食・嚥下障害学	外山慶一	3年前期	2	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、摂食嚥下障害についての、発現機序、摂食嚥下療法などを修得させる。
8	摂食・嚥下障害評価演習	外山慶一	3年後期	1	言語聴覚士としての臨床経験に基づき、摂食嚥下諸検査の手順、結果の読み取りを学び、評価法を修得させる。
合計				14	

政治経済学部

【政治経済学部】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	簿記Ⅰ	豊憲一郎	1年前期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
2	簿記Ⅱ	豊憲一郎	1年後期	2	担当教員の公認会計士・税理士としての経験を活かし、実務に即した学修を行う。
3	キャリア研究Ⅰ	倉橋・山本・南澤・橋爪	1年通年	2	多様な企業から講師を招聘し学生に進路選択について考えさせる契機とする。
4	キャリア研究Ⅱ	大村・豊・河野・橋爪	2年通年	2	多様な企業、元官僚、現役・元政治家からなる講師から経営・行政の実相を学ぶ。
5	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	橋爪真	1年通年	2	社会福祉協議会やボランティア活動の実践者を招いてボランティア活動について学ぶとともに、実際のボランティア活動の実践を単位認定の条件としている。
6	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	橋爪真	2年通年	2	ボランティア活動の実践者を招いてボランティア活動について学ぶとともに、実際のボランティア活動の実践を単位認定の条件としている。
7	インターンシップ	橋爪真	3年通年	2	提携企業等でのインターンシップの実践を単位認定のための要件としている。
合計				14	

実務経験のある教員等による授業科目一覧

理工学部

【理工学部】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連	
1	キャリアデザインⅠ	上村、他5名	1年通年	2	多様な企業から講師を招聘し学生に進路選択について考えさせる契機とする。	
2	キャリアデザインⅡ	金井、他5名	2年通年	2	多様な企業から講師を招聘し、研究者・技術者として生きることについて考えさせる契機とする。	
3	キャリアデザインⅢ	吉田、他4名	3年通年	2	実務経験のある本学教員が中心となり、各分野・領域における研究者・技術者として、必要な資質や能力に関するテーマを題材とした講義を通じて、将来の進路選択を考えさせる契機とする。	
4	キャリアデザインⅣ	山脇、他4名	4年通年	2	実務経験のある本学教員が中心となり、各分野・領域における研究者・技術者として、必要な資質や能力に関するテーマを題材とした講義を通じて、将来の進路選択を考えさせる契機とする。	
5	理工学基礎セミナーⅠ	長岡、他30名	1年後期	2	実務経験のある本学教員による様々なテーマを題材とした講義やグループワークを通して、分野融合の手法についての理解、意識向上を図るとともに、その実務経験や技術に関する学問領域や基盤技術を解説する。	
6	理工学基礎セミナーⅡ	松本、他30名	2年前期	2	実務経験のある本学教員による様々なテーマを題材とした講義やグループワークを通して、分野融合の手法についての理解、意識向上を図るとともに、その実務経験や技術に関する学問領域や基盤技術を解説し、それらを融合したイノベーションの提案	
7	理工学実践演習Ⅰ	北村、他30名	3年前期	1	全専攻にまたがる学生によるグループを編成し、「理工学基礎セミナー」で学んだ各専門領域を融合する手法を用い、専門科目の知識や技術を合わせ課題解決に取り組むPBL型教育を展開する。各専攻の教員及び課題に関連する企業からの招聘する特別講師がファシリテータとしてグループワークに取り組む。	
8	理工学実践演習Ⅱ	宮崎、他30名	3年後期	1	全専攻にまたがる学生によるグループを編成し、「理工学基礎セミナー」で学んだ各専門領域を融合する手法を用い、専門科目の知識や技術を合わせ課題解決に取り組むPBL型教育を展開する。各専攻の教員及び課題に関連する企業からの招聘する特別講師がファシリテータとしてグループワークに取り組む。	
合計					14	※「理工学基礎セミナー」「理工学実践演習」とも、Ⅰでは「現状技術を用いた理工学融合による社会問題の解決」を題材に、Ⅱでは「技術の将来の発展性を考えた理工学融合によるイノベーションの提案」を題材に展開を図る。

社会学部

【社会学部】

No.	授業科目の名称	担当教員	配当年次	単位数	担当者の実務経験と教育内容との関連
1	キャリアデザインⅠ	西田、他6名	1年通年	2	多様な企業から講師を招聘し、学生に2年次に分属するコース選択について考えさせる契機とする。
2	キャリアデザインⅡ	西田、他4名	2年通年	2	多様な企業から講師を招聘し、将来社会人として働き生活することについて考えさせる契機とする。
3	人文地理学概論	徳安 浩明	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、社会学を学ぶうえで基盤となる人文地理学についての知識と能力を身につけさせる。
4	日本史概論	得能弘一	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、社会学を学ぶうえで基盤となる日本史についての知識と能力を身につけさせる。
5	環境社会学	天野健作	2・3年前期	2	新聞記者の実務経験を活かし、現代社会学分野の専門科目の1つである環境問題についての知識と考察・分析する能力を身につけさせる。
6	ジャーナリズム論	佐々木正明	2・3年前期	2	新聞記者の実務経験を活かし、メディア社会学分野の専門科目の1つであるジャーナリズムについての知識と表現する能力を身につけさせる。
7	中等教科教育法(社会)Ⅰ	秋岡祥介	2年前期	2	教員の実務経験を活かし、中学校社会科教育の目標・内容・方法などを理解し、望ましい授業構想やその指導法についての知識と能力を習得する。
合計					14